

# 南地区ってこんなところ

本紙では、市内を9地区に分けて、地域の情報を年3回紹介しています。本号では、「南地区」を紹介します。



## 弁天線



W杯に合わせ、全線4車線で供用開始(上)。大会期間中は、国内外のサポーターの姿が沿道のあちこちで見られました。笹出線との交差点から弁天橋までの両側歩道には、市民歓迎プレート(下)が設置されています。



## にいがたe 起業館



IT系中小・ベンチャー企業の事業創出や起業を支援しようと、市が整備した「にいがたe 起業館」。この施設は、通信回線や24時間対応のセキュリティシステムなどが整っています。

## けやき通り・光のページェント



新潟の冬の風物詩、けやき通りの光のページェント。毎年12月中旬から約1カ月間、約26万球のイルミネーションに灯がともります。

## 鮭稚魚の放流



信濃川漁業協同組合では、昭和55年に鮭ふ化場をつくり、育てる漁業にも力を入れていきます。毎年、曾野木小学校などでは、同組合から分けてもらった鮭の稚魚を育て、3月中旬に信濃川に放流しています。

## 南地区はおいしい農産物がいっぱい



**曾野木地区**  
にいがた十全なす(7月~9月)  
市園芸銘産品第2号の十全なす。まんまとした形で、皮と実がやわらかいのが特徴。浅漬けに最適です。



**両川地区**  
なし(8月~12月)  
両川地区で最も生産量が多いのは「新興」。甘味とみずみずしさ、さくとした歯ざわりが特徴です。そのほか、「20世紀」「幸水」なども生産しています。



**鳥屋野地区**  
女池菜(12月~4月)  
豊かな甘味とほろ苦さがよく調和し、雪をかぶるとさらにおいしさが増します。おひたしにすると最高です。

## 小阿賀野川



阿賀野川と信濃川を結ぶ小阿賀野川は、水辺の自然が多く残る川です。釣りの名所としても知られています。